

平成29年度LCA日本フォーラム総会資料

- 第1号議案 平成28年度活動報告書 資料1
- 第2号議案 平成28年度収支決算書 資料2
- 第3号議案 平成29年度活動計画書 資料3
- 第4号議案 平成29年度収支予算書 資料4
- 第5号議案 平成29年度役員 資料5

参考資料1 平成29年度 専門委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

平成29年7月5日
13時00分～13時50分
於：東海大学校友会館（霞が関）

LCA日本フォーラム
事務局：一般社団法人 産業環境管理協会

平成28年度活動報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 会議関係活動

1-1. 総会

◇平成28年7月11日 於 學士会館 210号室

平成28年度LCA日本フォーラム役員選任(案)を承認し、平成27年度活動実績報告書(案)、平成27年度収支決算書(案)、平成28年度活動計画書(案)及び平成28年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<平成28年度役員(敬称略)>

- | | | |
|---------|---------|---|
| 1. 会長: | 山本 良一 | 東京大学 名誉教授 |
| 2. 副会長: | 稲葉 敦 | 工学院大学 先進工学部 教授 |
| | 足立 芳寛 | 東京工科大学 客員教授 |
| | 古賀 剛志 | 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構 理事 |
| | 末松 広行 | 経済産業省 産業技術環境局長 |
| | 伊勢 清貴 | 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会委員長
トヨタ自動車株式会社 専務役員 |
| | 佐久間 総一郎 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
新日鉄住金株式会社 代表取締役副社長 |
| | 三浦 啓一 | 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部長代行
太平洋セメント株式会社 取締役常務執行役員 |
| 3. 監事: | 笠井 清 | 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長 |
| | 二神 龍太郎 | キヤノン株式会社 環境統括センター 環境推進部 部長 |

1-2. 運営委員会

1回開催し、総会付議事項を審議、承認した。

◇第1回 平成28年 6月22日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

出席: 委員 18名、事務局 3名

議案: ・総会付議事項について(審議)

平成27年度活動実績報告書(案)、平成27年度収支決算書(案)、平成28年度活動計画書(案)及び平成28年度収支予算書(案)を審議、承認した。

・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

1-3. LCA/DB委員会

1回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用状況の確認と「平成27年度データベース整備事業」について報告、検討した。

◇第1回 平成28年 6月 1日 於 エッサム神田ホール 会議室

出席: 委員 14名、オブザーバー 3名、事務局 4名

議案: ・平成27年度データベース整備事業報告と継続活動について

・連結データベースの公開の進め方について

・平成27年度 JLCA データベース利用・更新実績について

1-4. DB 海外対応ワーキンググループ

1回開催し、国際的なデータベースネットワークへのLCA日本フォーラムデータベースの対応を計画、検討した。

- ◇第1回 平成28年 9月 5日 於 一般社団法人産業環境管理協会 会議室
出席：委員 6名、オブザーバー 1名、事務局 3名
議案：・DB 海外対応ワーキンググループ設置について
・UNEP データベースネットワークへの参加検討について

1-5. 情報企画委員会

2回開催し、セミナー開催、ニュースレター発行計画及び情報発信等の普及活動について検討した。

- ◇第1回 平成28年 4月28日 於 一般社団法人産業環境管理協会 会議室
出席：委員 5名、事務局 1名
- ◇第2回 平成28年 8月26日 於 産業環境管理協会 会議室
出席：委員 7名、事務局 1名
(上記共通) 議案：・平成28年度セミナー開催計画と実績報告
・平成28年度ニュースレター発行計画と実績報告
・情報発信、普及活動について

1-6. 研究活動委員会

1回開催し、研究会活動の報告とLCA研修の実施確認、次年度の研究企画と研修計画を検討した。1回のメール審議により、新規研究会設置の承認をした。

- ◇第1回 平成29年 3月17日 於 産業環境管理協会 会議室
出席：委員 3名、事務局 2名
議案：・平成28年度 研究会活動報告と次年度の計画について
・平成28年度 LCA 研修事業の報告と次年度の計画について
- ◇メール審議 1回(平成28年10月12日)
・新規研究会「LIME3活用検討」の設置についての承認

1-7. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「平成28年度 第13回LCA日本フォーラム表彰」に関する各賞最終選考を行った。

- ◇平成28年12月22日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 8名、オブザーバー 1名、事務局 2名
議題：・表彰選考WGによる事前審査結果について審議
・第13回LCA日本フォーラム表彰の最終選考審査

1-8. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

2回開催し、「平成28年度第13回LCA日本フォーラム表彰」に関する募集要項を検討し、応募申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

- ◇第1回 平成28年 6月16日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 6名、事務局 2名
議案：・平成27年度第12回LCA日本フォーラム表彰の総括(報告)
・平成28年度第13回LCA日本フォーラム表彰の概要(検討)
- ◇第2回 平成28年12月16日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 6名、事務局 2名
議案：・WG委員による一次審査について
- ◇事前審査 委員 7名、応募件数 15件

2. JLCAデータベース管理活動

2-1. データベース運用実績

ログイン実績		2,170件 (前年 1,888件)
アクセス実績	工業会データ	3,301件 (前年 3,132件)
	連結データ	846件

2-2. データ新規追加・更新状況

LCA日本フォーラムでは、一昨年度「平成27年度データベース整備事業」が実施され、工業会データとIDEAとの上流連結作業を行った「LCA連結データ」を整備し、平成28年度に公開(会員専用)した。「LCA連結データ」は工業会等から提供されている「インベントリ分析用データベース」(工業会データ)にIDEA ver.2.0 β版(H27.10 現在)を連結計上した、プロセス合算型(Cradle-to-Gate)データとなっている。

■LCA連結データ公開(2016年7月)「Cradle to Gate」のインベントリデータ (約100品目)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 日本化学工業協会 | 9. 日本産業・医療ガス協会 |
| 2. 日本自動車部品工業会 | 10. プラスチック循環利用協会 |
| 3. 日本ガス協会 | 11. 日本ゴム工業会 |
| 4. 情報通信ネットワーク産業協会 | 12. エンプラ技術連合会 |
| 5. 日本アルミニウム協会 | 13. 日本ソーダ工業会 |
| 6. 日本建設業連合会 | 14. 合成樹脂工業会 |
| 7. 日本電機工業会 | 15. 全国段ボール工業組合連合会 |
| 8. 日本製紙連合会 | 16. カーボンブラック協会 |

□日本鉄鋼連盟のLCI データの一部公開停止 (2017年2月)

2-3. 「データベース整備事業」継続

工業会データを見直し「LCA連結データ」の公開を行う意思のある工業会に向け、連結作業を円滑に進めるための支援事業を継続実施した。

2-4. 海外データベースネットワークへの対応

DB 海外対応ワーキンググループにて、UNEP データベースネットワークへの JLCA データベースの参加について検討した。現段階では参加を保留とし、今後も情報を収集しながら継続して検討を行う。

3. 研究会・研修活動

3-1. 「組織のLCA」研究会

◇「組織のLCA」WGメンバー

委員長 稲葉 敦(工学院大学 先進工学部 教授)

委員 本下晶晴(国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)

WGメンバー	株式会社 資生堂	サンメッセ株式会社
	TOTO株式会社	株式会社カネカ
	アズビル株式会社	日本生活協同組合連合会
	旭硝子株式会社	株式会社明電舎
	大日本印刷株式会社(日本印刷産業技術標準化推進協議会)	
オブザーバー	経済産業省	みずほ情報総研株式会社

◇「組織のLCA」研究会 実施内容

UNEP/SETAC ライフサイクルイニシアチブが発行したガイダンスを参考に、「組織のLCA」の実施事例を作成し、計算方法の確立の検討と、SCOPE3 との相違の分析を行い、国際会議、学会等で研究事例発表を行った。

第5回 平成28年 2月16日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第6回 平成28年 6月 6日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第7回 平成28年 7月27日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第8回 平成28年 9月20日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第9回 平成28年11月11日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第10回 平成28年12月16日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第11回 平成29年 2月16日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第12回エコバランス国際会議(2016年10月3日～6日 於 京都テルサ)

第12回日本LCA学会研究発表会(2017年3月1日～3日 於 産業技術総合研究所)

3-2. 「容器包装の環境効率」研究会

◇「容器包装の環境効率」WGメンバー

委員長 平尾雅彦(東京大学大学院 工学系研究科 教授)

委員 中谷 隼(東京大学大学院 工学系研究科 助教)

アドバイザー 田崎智宏(国立研究開発法人国立環境研究所 循環型社会システム研究室 室長)

WGメンバー 東洋製罐株式会社 株式会社エフピコ

大日本印刷株式会社 レンゴー株式会社

凸版印刷株式会社 サッポロビール株式会社

日本テトラパック株式会社 三笠産業株式会社

三井化学株式会社

オブザーバー 一般社団法人プラスチック循環利用協会

◇「容器包装の環境効率」研究会 実施内容

主に機能性評価指標の検討を行い、容器包装の環境効率手法を確立する事例研究を行った。

■「容器包装の環境効率」研究会 公開報告会

第1期(2014年4月～2016年3月)においては「機能的価値項目の検討までの取り纏めを行い、公開講演会を開催した。

開催日時: 2016年6月7日(火) 14:00-17:00

開催場所: TKP 神田駅前ビジネスセンター ルーム5C

主催: LCA 日本フォーラム

参加者: 50名(WGメンバー、関係者含む)

第13回 平成28年 6月14日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第14回 平成28年 8月 3日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第15回 平成28年10月27日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第16回 平成28年12月13日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

第17回 平成29年 2月27日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

3-3. 「LIME3活用検討」研究会

◇「LIME3活用検討」WGメンバー

委員長 稲葉 敦(工学院大学 先進工学部 教授)

副委員長 伊坪徳宏(東京都市大学 環境学部 教授)

WGメンバー 株式会社 資生堂 東芝メモリ株式会社
キヤノン株式会社 積水化学工業株式会社
TCO2株式会社

◇「LIME3活用検討」研究会 実施内容

環境影響評価手法LIME3の利用方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を始めた。

第1回 平成29年 3月6日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

3-4. JLCA-LCA研修

LCA研修(入門コース)を4つの地域会場にて実施した。

◇東京会場

日時① 2016年10月13日(金) 参加者: 34名

日時② 2017年1月20日(金) 参加者: 14名

場所: TKP 神田駅前ビジネスセンター

◇名古屋会場

日時: 2016年10月27日(木) 参加者: 4名

場所: フルハシ環境総合研究所

◇大阪会場

日時: 2016年11月8日(火) 参加者: 4名

場所: 麻綱ビル(10階 会議室)

◇福岡会場

日時: 2016年11月25日(金) 参加者: 2名

場所: 博多バスターミナル

4. 普及・情報交流活動

4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催

LCA日本フォーラムが主催開催のセミナーを4回開催し、4件のイベントへ協力をした。

① 平成28年度 LCA日本フォーラム総会記念セミナー

日時: 平成28年 7月11日

場所: 學士会館 210号室

参加: 130名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容:

講演1 会長講演 「エコからエコエシカルへ、倫理的消費の重要性」

LCA日本フォーラム 会長 / 東京大学 名誉教授 山本 良一

講演2 日本鉄鋼連盟 「Closed-Loop Recycling を反映した鉄鋼製品のLCA」

新日鐵住金株式会社 技術総括部 首席主幹 小野 透

講演3 日本化学工業協会 「化学製品のGHG 排出削減への貢献」

一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長 笠井 清

講演4 日本自動車部品工業会「自動車部品業界の活動紹介」

株式会社デンソー 安全衛生環境部 部長 棚橋 昭

講演5 日本電機工業会「電機業界の活動紹介」

一般社団法人日本電機工業会 環境部 担当次長 齋藤 潔

活動報告「平成27年度データベース整備事業」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 一般社団法人産業環境管理協会

② 平成28年度LCA日本フォーラムセミナー〈びわ湖環境ビジネスメッセ共催セミナー〉

日時： 平成28年10月21日

場所： 長浜バイオ大学ドーム

参加： 40名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容： - LCA日本フォーラム表彰 受賞事例紹介 -

講演1 「ICTを活用した気候変動への取組み ～NECの目指す環境経営のご紹介～」

日本電気株式会社 品質推進本部 環境推進部 中山 憲幸

講演2 「住友化学の環境経営」

住友化学株式会社 レスポンシブルケア部 林 真弓

講演3 「飼料用アミノ酸の研究開発・生産・販売による食糧・環境問題解決への

グローバルな貢献活動」

味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部 高橋 英二

講演4 「カーボンフットプリントを活用した建築物のCO2排出量の「見える化」

株式会社 安藤・間 技術本部 技術研究所 鈴木 好幸

講演5 「CO2排出量低減にも貢献する、使用済み紙おむつ資源化技術の開発」

ユニ・チャーム株式会社 CSR本部 和田 充弘

③ 平成28年度LCA日本フォーラム/日本LCA学会共催セミナー

「環境影響の評価とリスク対応」

日時： 平成29年 1月30日

場所： 大手町ファーストスクエアカンファレンス

参加： 100名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容：

講演1 「気候変動適応策に関する取組について」

環境省 地球環境局 気候変動適応室 室長 竹本 明生

講演2 「LCAを応用したサプライチェーンリスクの評価」

東京大学大学院 工学系研究科 講師 中谷 隼

講演3 「持続可能かつ継続可能な資源調達にむけて」

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員 中島 謙一

講演4 「環境負荷物質の排出、自然資本の利用による環境影響の貨幣評価 (ISO関連動向)」

工学院大学 先進工学部 教授 稲葉 敦

報告「エコバランス国際会議2016」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員 本下 晶晴

受賞講演1 「帝人におけるサステナビリティへの取組み事例:カスタマー・ベネフィット・モデル」

帝人株式会社 CSR・信頼性保証部 大崎 修一

受賞講演2 「azbilグループの環境施策におけるマテリアリティ抽出に向けた組織のLCAの活用」

アズビル株式会社 環境推進部 秦野 弘

- ④ LCAフォーラム表彰「平成27年度第12回LCA日本フォーラム表彰記念講演」
日時： 平成29年 2月 24日
場所： 東海大学校友会館
参加： 120名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)
内容： 第13回LCA日本フォーラム表彰受賞者 (5. LCA日本フォーラム表彰参照)

【共催・後援イベント】

◇第22回日本LCA学会/LCA日本フォーラム共催 講演会

「持続可能な消費・生産に向けたライフサイクル思考の役割」

- 日時： 平成28年12月15日 場所： 全日通霞ヶ関ビル 会議室
主催： 日本LCA学会 共催： LCA日本フォーラム
参加： 80名(講演者、関係者含む)

◇第12回エコバランス国際会議 2016

- 日時： 平成28年10月3-6日 場所： 京都テルサ
運営： 日本LCA学会 協賛： LCA日本フォーラム 他

◇専門家ワークショップ「ライフサイクル思考に基づく持続可能な 開発推進と、
グローバルLCAデータアクセスネットワークが果たす役割」

- 日時： 平成28年10月7日 場所： 京都テルサ
主催： 経済産業省事業、UNEP/SETAC ライフサイクルイニシアチブ
後援： LCA日本フォーラム/日本LCA学会
参加： 60名(講演者、関係者含む)

◇ワークショップ「LCAを活用した環境負荷可視化に係る最新の国際動向

—環境フットプリントと新たなLCAデータベース国際協調の枠組(GLAD)—」

- 日時： 平成29年 3月13日 場所： 全日通霞ヶ関ビル 会議室
主催： 経済産業省事業 後援： LCA日本フォーラム/日本LCA学会
参加： 80名(講演者、関係者含む)

4-2. JLCAニュースレター発行

下記のとおりニュースレターを発行(ホームページ掲載)した。

◇第70号：平成29年 3月 (特集 第13回LCA日本フォーラム表彰 1)

◇第71号：平成29年 3月 (特集 第13回LCA日本フォーラム表彰 2)

(5. LCA日本フォーラム表彰参照)

【英語版】

◇No.20 Innovations for Greenhouse Gas Reductions

-Life Cycle Analysis of Chemical Products in Japan and around the World-
carbon-Life Cycle Analysis (cLCA) Third Edition - Summary

◇No.21 JAPIA LCI Calculation Guidelines Second Edition

4-3. ホームページ 情報更新、普及活動

◇コンテンツの情報更新

- ・JLCAデータベース：データ新規追加・更新状況
- ・LCA日本フォーラム表彰、セミナー、LCA研修等の募集、開催案内、開催報告

◇メール情報配信 21件

LCA、環境効率関連のニュース、会員からの情報提供、フォーラム主催イベントなどの情報を、会員(ユーザー登録会員)に対して発信した。

5. LCA日本フォーラム表彰

LCA、環境効率に係わる優れた活動を表彰する「第13回LCA日本フォーラム表彰」が実施され、「経済産業省産業技術環境局長賞」、「会長賞」、「奨励賞」、「功労賞」を、下記の通り表彰した。

■平成28年度 第13回LCA日本フォーラム表彰

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省産業技術環境局長賞		
研究・教育	国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ	インベントリデータベースIDEAの開発
LCA日本フォーラム会長賞(2件)		
環境経営	富士通株式会社	富士通グループにおける資源効率向上の取組
環境経営	株式会社デンソー 環境委員会 委員長 取締役副社長 宮木正彦	ライフサイクル視点の環境経営を目指すための『デンソー エコビジョン2025』
LCA日本フォーラム奨励賞(5件)		
環境経営	凸版印刷株式会社 製造統括本部 エコロジーセンター センター長 松澤優一	凸版印刷の環境影響評価と環境活動 ～10年の軌跡と2020年の中期目標に向けて～
環境経営	アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役社長兼COO 小路 明善	アサヒグループの環境負荷低減に向けた LCAの活用
環境経営	日本ハム株式会社	ニッポンハムグループのサプライチェーンに おける温室効果ガス排出量の算定と活用
環境経営	株式会社スワラクス	継続的MFCA活動への取り組み
研究・教育	根元 一幸(神奈川県立座間高等学校)	教育用LCAソフトウェアを活用した環境教育
功労賞		
笠井 清(元 一般社団法人社団法人日本化学工業協会 技術部 部長)		
吉良 雅治(元 一般社団法人日本産業機械工業会 産業機械第一部兼技術部 部長)		

平成28年度LCA日本フォーラム収支決算

1 一般事業収支		(単位：円)			
	科目	H28年度 予算額	H28年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	14,664,000	14,325,000	△ 339,000	@ 100,000 円× 19 工業会Ⅰ = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会Ⅱ = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会Ⅲ = 600,000 @ 30,000 円× 18 工業会Ⅳ = 540,000 @ 80,000 円× 4 団体 = 320,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 85 優先企業A = 4,250,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 25 一般企業A = 2,000,000 @ 50,000 円× 14 一般企業B = 700,000 @ 30,000 円× 43 一般企業C = 1,290,000 @ 30,000 円× 39 大学等 = 1,170,000 @ 13,000 円× 40 個人 = 520,000 @ 7,000 円× 15 LCA学会会員 = 105,000
	特別DB利用料				
2	セミナー参加費	100,000	65,000	△ 35,000	
3	雑収入	4,000	190	△ 3,810	利息等 190
当期収入合計(A)		14,768,000	14,390,190	△ 377,810	
II	支出の部				
1	委員会関係費	500,000	239,257	△ 260,743	委員謝金 77,000 委員旅費 55,380 会場費・会議費 106,877
2	研究会活動費	3,000,000	2,746,367	△ 253,633	研究会活動費 ・「組織のLCA」研究会 368,514 ・「容器包装の環境効率」研究会 665,137 ・「LIME3」研究会 54,398 JLCA-LCA研修事業費 1,658,318
3	システム維持管理費	3,000,000	1,963,740	△ 1,036,260	データベースサーバー保守・管理費 969,800 レンタルサーバー利用費 166,660 ホームページ更新・管理費 827,280 データベース事業継続費 0
	DB調査費 (特別収支へ移行)	4,000,000	4,000,000	0	DB調査費 (特別収支へ移行) 4,000,000
4	セミナーシンポジウム	3,000,000	1,897,211	△ 1,102,789	講師／関係者 謝金・旅費 602,180 会場費 684,126 印刷費 494,773 会議費 116,132
5	LCA表彰	2,000,000	2,388,782	388,782	委員会、審査関係費 441,064 表彰式、講演会関係費 1,947,718
6	広報誌発行費	1,800,000	1,595,008	△ 204,992	翻訳費 1,396,008 原稿料 199,000
7	国際対応活動費	1,530,000	600,000	△ 930,000	海外調査 0 TC207協力金 (H28年度分) 30,000 エコバランス国際会議 570,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	日本LCA学会 (H28年分) 100,000
9	事務局人件費	2,900,000	2,200,000	△ 700,000	事業支出額の約20% 2,200,000
10	事務局経費	600,000	499,008	△ 100,992	事務局人件費の約15% 330,000 実費経費 169,008
当期支出合計(B)		22,430,000	18,229,373	△ 4,200,627	
当期収支差額 (A-B)		△ 7,662,000	△ 3,839,183	3,822,817	
前年度繰越金 (C)		9,466,838	9,466,838	0	
次期繰越収支差額 (A-B+C)		1,804,838	5,627,655	3,822,817	

2 特別収支 (システム更新積立金)		(単位：円)			
	科目	H28年度 予算額	H28年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
		4,000,000	4,000,000	0	
当期収入合計(D)		4,000,000	4,000,000	0	
II	支出の部				
		0	0	0	
当期支出合計(E)		0	0	0	
当期収支差額 (D-E)		4,000,000	4,000,000	0	
前年度繰越金 (F)		5,768,700	5,768,700	0	
次期繰越収支差額 (D-E+F)		9,768,700	9,768,700	0	

会計監査確認書

平成28年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

平成29年4月27日

監事

東京都中央区日本橋本町 1丁目9番4号

一般社団法人セメント協会

生産・環境部門

リーダー 細川 浩之 

監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

キヤノン株式会社

環境統括センター 環境推進部

主席 望月 規弘 

平成29年度活動計画書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

環境マネジメントに関する国際規格化動向、欧州委員会における環境フットプリントやGHGプロトコルにおけるScope3の進展、あるいは、自治体・工業会におけるGHG排出量の削減貢献量の取り組みなど、サプライチェーン全体を通じたLCAの活用が国内外に広がっている。

こうした中、LCA日本フォーラムは、平成10年からの第1期LCAプロジェクト以来の成果を、広く我が国産業界に一元的に公開し続け、LCAの発展に欠くことのできないLCAデータベース(JLCA-DB)の利便性向上を図り、今後の在り方について広く議論を行い、さらなる発展を期すこととする。

その他、今年度も下記を柱とした活動を行う。

- ① LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ② LCA日本フォーラム表彰の実施
- ③ 情報発信活動としてセミナーの開催とニュースレターの発行
- ④ LCAと環境効率の研究会活動とLCA研修事業の実施
- ⑤ 国際動向の積極的な調査

1. 事業内容

1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

- ① 昨年度は、平成27年度に実施した「データベース整備事業」の成果である「LCA連結データ」を、フォーラム会員向けに公開した。引続き、問合せ対応等のフォローアップを行うのは勿論のこと、今後、さらなる活用を促すため、工業会データを見直し連結データの公開を行う意思のある工業会に向け、連結作業を円滑に進めるための支援事業を実施する。
(支援業務の委託先:産業技術総合研究所および産業環境管理協会)
- ② 国際的なデータベースネットワークの動向について、経済産業省事業や産業技術総合研究所のデータベース(IDEA)事業への協力と情報を収集し、フォーラムとしての対応を継続的に検討する。

1-2. LCA表彰事業活動の実施

- ① 日本国内のLCAと環境効率に係わる優れた活動および製品・サービスを表彰する。
「第14回LCA日本フォーラム表彰」 経済産業省産業技術環境局長賞
LCA日本フォーラム会長賞
LCA日本フォーラム奨励賞
功労賞
- ② 表彰式：受賞者の表彰式と表彰記念講演会を実施する。(平成30年2月)

1-3. 情報発信活動の実施

- ① LCAと環境効率に関連したセミナーを4回程度開催する。
 - 総会併設セミナー (平成29年7月5日)
 - 地方開催セミナー：エコテク/2017併設(平成29年10月)

- フォーラム主催セミナー：関心度の高いテーマを選定(平成29年10～11月)
- 日本LCA学会共催セミナー：海外動向を中心にテーマに選定(平成30年1月)
- ② LCAと環境効率に関連した情報掲載の「フォーラムニュース」を2～3刊程度発刊する。
- ③ ホームページのコンテンツの充実を図る。
- ④ メールマガジン等により、LCAと環境効率に関連する情報を提供する。

1-4. 研究会活動の実施

- ① 平成28年度に引続き、下記の研究会活動の継続を実施する。
 - 「容器包装の環境効率」研究会
 - 「組織のLCA」研究会
 - 「LIME3活用検討」研究会
- ② 研究活動委員会にて新規1～2件程度の研究会を設置し、WGメンバーを公募にて募集し、各研究会の委員長を中心に研究会を実施する。

1-5. LCA研修の実施

LCA実施者の裾野を広げるべく、データベースの継続運営、会員サービスへの強化を含めたフォーラム全体の活性化を目的とし、フォーラム主催のLCA研修(入門コース)を実施する。4つの地域会場にて各1～2回程度開催する。

- 東京会場(7月11日、11月)
- 大阪会場(6月30日、11月)
- 名古屋会場(6月2日、11月)
- 九州会場(6月)

1-6. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ① 国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。
- ② 国際会議、学術会議等への協力(TC207、日本LCA学会等)

2. 年間スケジュール予定

2-1. 総会／委員会

- ① 通常総会 年1回 (7月5日)
- ② 運営委員会 年1回程度 (6月)
- ③ LCA/DB委員会 年1回程度 (6月)
- ④ 情報企画委員会 年3回程度 (6月、8月、3月)
- ⑤ 研究活動委員会 年1回程度 (3月) またはメール審議
- ⑥ 表彰委員会 年1回程度 (12月)
- ⑦ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度(7月、12月)

2-2. 情報発信

- ① LCA日本フォーラム表彰 応募期間(8月～11月) 表彰式(2月)
- ② セミナー開催 年4回程度 (7月、10月～11月、1月)
- ③ ニュースレター発刊 年2～3刊程度
- ④ ホームページ更新(ニュース配信随時、コンテンツ改訂等)

平成29年度LCA日本フォーラム収支予算書

1 一般事業収支					(単位：円)		
	科目	H28年度 予算額	H28年度 決算額	H29年度 予算額			
I	収入の部						
1	会費	14,664,000	14,325,000	14,325,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 18 工業会 III = 540,000 @ 80,000 円× 4 団体 = 320,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 85 優先企業A = 4,250,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 25 一般企業A = 2,000,000 @ 50,000 円× 14 一般企業B = 700,000 @ 30,000 円× 43 一般企業C = 1,290,000 @ 30,000 円× 39 大学等 = 1,170,000 @ 13,000 円× 40 個人 = 520,000 @ 7,000 円× 15 LCA学会 = 105,000		
	特別DB利用料						
2	セミナー参加費	100,000	65,000	50,000			
3	雑収入	4,000	190	1,000	利息	1,000	
当期収入合計(A)		14,768,000	14,390,190	14,376,000			
II	支出の部						
1	委員会関係費	500,000	239,257	350,000	委員謝金 100,000 委員旅費 100,000 会場費 100,000 会議費 50,000		
2	研究会活動費	3,000,000	2,746,367	3,500,000	研究会活動費 (研究会4件程度) 1,500,000 LCA研修事業 2,000,000		
3	システム維持管理費	3,000,000	1,963,740	3,500,000	データベースサーバー保守・管理費 1,000,000 レンタルサーバー利用費 200,000 ホームページ更新・管理費 700,000 データベース事業継続費 1,600,000		
4	セミナー・シンポジウム	4,000,000 3,000,000	4,000,000 1,897,211	0 2,500,000	システム更新積立費 (特別収支へ移行) 0 講師謝金・旅費 700,000 会場費 1,000,000 印刷費 500,000 会議費 300,000		
5	LCA表彰費	2,000,000	2,388,782	2,000,000	委員会、審査関係費 500,000 表彰式、講演会関係費 1,500,000		
6	広報誌発行費	1,800,000	1,595,008	1,000,000	原稿料・原稿作成費 500,000 翻訳費 500,000		
7	国際対応活動費	1,530,000	600,000	1,030,000	海外調査 500,000 TC207協力金 30,000 エコバランス国際会議協力金 500,000		
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	日本LCA学会 100,000		
9	事務局人件費	2,900,000	2,200,000	2,000,000	事業支出額の約20% 2,000,000		
10	事務局経費	600,000	499,008	500,000	事務局人件費の約15% 300,000 実費経費 200,000		
当期支出合計(B)		22,430,000	18,229,373	16,480,000			
当期収支差額 (A-B)		△ 7,662,000	△ 3,839,183	△ 2,104,000			
前年度繰越金 (C)		9,466,838	9,466,838	5,627,655			
次期繰越収支差額 (A-B+C)		1,804,838	5,627,655	3,523,655			

2 特別収支 (システム更新積立金)					(単位：円)	
	科目	H28年度 予算額	H28年度 決算額	H29年度 予算額		
I	収入の部					
		4,000,000	4,000,000	0		
当期収入合計(D)		4,000,000	4,000,000	0		
II	支出の部					
		0	0	0		
当期支出合計(E)		0	0	0		
当期収支差額 (D-E)		4,000,000	4,000,000	0		
前年度繰越金 (F)		5,768,700	5,768,700	9,768,700		
次期繰越収支差額 (D-E+F)		9,768,700	9,768,700	9,768,700		

平成29年度LCA日本フォーラム役員

(敬称略)

会長:

山本 良一 東京大学 名誉教授

副会長:

稲葉 敦 工学院大学 先進工学部 教授

足立 芳寛 東京工科大学 客員教授

古賀 剛志 特定非営利活動法人エコデザイン推進機構 理事

末松 広行 経済産業省 産業技術環境局長

伊勢 清貴 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
トヨタ自動車株式会社 専務役員佐久間総一郎 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
新日鉄住金株式会社 代表取締役副社長三浦 啓一 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長代行
太平洋セメント株式会社 取締役常務執行役員

監事:

(新) 細川 浩之 一般社団法人セメント協会 生産・環境部門 リーダー

(新) 望月 規弘 キヤノン株式会社 環境統括センター 主席

平29年度 LCA日本フォーラム 運営委員会委員名簿

	氏名	組織名	所属/役職	
1	委員長 稲葉 敦	工学院大学	先進工学部 環境化学科	教授
2	副委員長 古賀 剛志	特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構	理事	
3	副委員長 伊吹 隆直	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境部	部長
4	副委員長 櫻井 光一	三菱電機株式会社	環境推進本部	本部長
5	委員 足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会 東京工科大学	副会長 客員教授	
6	委員 平尾 雅彦	東京大学大学院工学系研究科	化学システム工学専攻	教授
7	委員 國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
8	委員 水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
9	委員 松野 泰也	千葉大学大学院工学研究院	都市環境システムコース	教授
10	委員 伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
11	委員 日黒 雅也	一般社団法人日本自動車工業会	環境統括部	部長
12	委員 前田 泰史	一般社団法人日本ガス協会	環境部	部長
13	委員 筒井 将年	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	上席次長
14	委員 田島 徹也	一般社団法人電子情報技術産業協会	環境部	環境グループ長
15	委員 寺内 誠	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
16	委員 西尾 健二	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会	環境部	担当部長
17	委員 井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第一部 兼 技術部	部長
18	委員 葉石 善一	一般社団法人日本建設業連合会		常務執行役
19	委員 細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
20	委員 松浦 弘之	一般社団法人日本ガス石油機器工業会		事務局長
21	委員 中野 直男	一般社団法人日本アルミニウム協会		理事
22	委員 塩沢 昭仁	石油化学工業協会	技術部	次長
23	委員 三浦 安史	石油連盟	技術環境安全部	統括グループ長
24	委員 高橋 政弘	電気事業連合会	立地環境部	副部長
25	委員 大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会		理事 環境委員長
26	委員 小野寺 浩幸	株式会社日立製作所	CSR・環境戦略本部	副本部長
27	委員 本堂 義行	株式会社東芝	環境推進室	
28	委員 山崎 誠也	富士通株式会社	環境本部	グリーンソリューション推進部長
29	委員 望月 規弘	キヤノン株式会社	環境統括センター 環境推進部	
30	委員 折口 壮志	日本電信電話株式会社	ネットワーク基盤技術研究所 環境基盤プロジェクト	主幹研究員
31	委員 服部 桂治	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	室長

平成29年度 LCA日本フォーラム LCA/DB委員会名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	松野 泰也	千葉大学大学院工学研究院	都市環境システムコース	教授
2 副委員長	小野 透	新日鐵住金株式会社	技術総括部	上席主幹
3 委員	原田 幸明	国立研究開発法人物質・材料研究機構		アドバイザー
4 委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	グループ長
5 委員	醍醐 市朗	東京大学大学院工学系研究科	マテリアル工学専攻	特任准教授
6 委員	寺内 誠	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
7 委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
8 委員	細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
9 委員	棚橋 昭	一般社団法人日本自動車部品工業会 株式会社デンソー	安全衛生環境部	部長
10 委員	金子 一彦	一般社団法人日本産業機械工業会 株式会社荏原製作所	内部統制・リスク管理統括部 環境推進室	室長
11 委員	竹村 洋行	一般社団法人日本ガス協会	環境部 地球環境グループ	マネジャー
12 委員	小安 克幸	一般社団法人日本アルミニウム協会	業務・国際交流担当	主査
13 委員	小坂 裕	一般社団法人電線総合技術センター	研究開発グループ	主査研究員
14 委員	長縄 肇志	塩ビ工業・環境協会	技術部	部長
15 委員	久保 昌史	日本鋁業協会	技術部兼環境保安部	次長
16 委員	杉澤 元達	ステンレス協会 JFEスチール株式会社	環境防災・リサイクル部	部長
17 委員	瀧ヶ崎 薫	一般社団法人日本建設業連合会 前田建設工業株式会社	技術研究所	上席研究員

平成29年度 LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
2 委員	菊池 康紀	東京大学	統括プロジェクト機構 「プラチナ社会」総括寄付講座	特任准教授
3 委員	和泉 昭宏	一般社団法人プラスチック循環利用協会	調査研究部	環境影響評価部長
4 委員	並河 治	株式会社日立製作所	システム&サービスビジネス統括本部 環境推進本部	
5 委員	木村 祐一	株式会社リコー	環境推進本部 社会環境室 企画グループ	スペシャリスト
6 委員	古米 健治	旭化成株式会社	環境安全・品質保証部地球環境対策 推進グループ	
7 委員	大橋 憲司	株式会社資生堂	CSR部 環境企画室	
8 委員	小野 光司	日本生活協同組合連合会	環境事業推進部	
9 委員	柴田あゆみ	大日本印刷株式会社	包装事業部 技術開発本部 製品開発部	
10 委員	吉村 祐美	東洋製罐株式会社	環境・品質保証本部 環境部	

平成29年度 LCA日本フォーラム研究活動委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
2 委員	伊香賀 俊治	慶應義塾大学	理工学部 システムデザイン工学科	教授
3 委員	醍醐 市朗	東京大学	大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	特任准教授
4 委員	小松 郁夫	東洋製罐グループホールディングス株式会社	CSR部 環境経営推進グループ	リーダー

平成29年度 LCA日本フォーラム表彰委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属／役職	
1	委員長	石谷 久	東京大学	名誉教授	
2	副委員長	足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会 東京工科大学	副会長 客員教授	
3	副委員長	三浦 啓一	太平洋セメント株式会社	取締役常務執行役員	
4	委員	池田 三知子	一般社団法人日本経済団体連合会	環境本部長	
5	委員	内山 洋司	筑波大学	名誉教授	
6	委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
7	委員	長野 光博	日刊工業新聞社	取締役 編集局長	
8	委員	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	理事 環境委員長	
9	委員	服部 桂治	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	室長
10	委員	傘木 和俊	一般社団法人産業環境管理協会		

平成29年度 LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	成田 暢彦	前 名古屋産業大学大学院 教授		
2	委員	中瀧 道靖	関西大学	商学部	教授
3	委員	宇郷 良介	湘南工科大学	工学部 人間環境学科	教授
4	委員	芝池 成人	東京工科大学	工学部 機械工学科	教授
5	委員	玄地 裕	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	総括研究主幹
6	委員	根村 玲子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会		環境委員
7	委員	青木 良輔	Office RECHO (元 一般社団法人産業環境管理協会 技術参与)		

平成29年度LCA日本フォーラム JLCA-DB海外対応ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
2	委員	小野 透	一般社団法人日本鉄鋼連盟新日鐵住金株式会社	技術総括部	上席主幹
3	委員	棚橋 昭	株式会社デンソー	安全衛生環境部	部長
4	委員	横山 亮	TDK株式会社	生産本部 安全環境グループ 環境戦略推進部	
5	委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ	グループ長
6	委員	古島 康	みずほ情報総研株式会社	環境エネルギー第2部環境エネルギー政策チーム	
7	委員	正昌 宏一	TCO2株式会社	代表取締役	
8	委員	中野 勝行	一般社団法人産業環境管理協会	LCA事業推進センター LCA事業室	室長

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとします。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 約20名
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の中から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、一般社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。